

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス little デイジー		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 15日		～ 令和7年 5月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 15日		～ 令和7年 5月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	すぐ近くに公園があり、平日でも外遊びの時間を取ることができます。公園では地域の保育園児や小学生たちと交流できる機会があります。	6校時で帰りが遅い日でも公園へ出かけ、短時間ではありますが、地域の子供たちと一緒に遊具で遊んだり、広場でボール遊びをしています。それぞれが気持ちを発散してリフレッシュできる環境の提供、体力の向上にも繋がっています。	今後も公園での安全な遊び方やルールを決め、伝えていくことで危機管理能力を高められるような声掛けを行っていきます。
2	地域のイベントや野外活動、買い物学習やモノレール体験、クッキングなど、様々な経験ができるよう職員間で話し合い、企画を行っています。それぞれに合った参加方法を考えています。	長期休暇等が近くなると子どもたちで行きたい場所や体験したいことを『こども会議』で意見を出し合っています。職員と一緒に計画を立てています。高学年のお兄さん、お姉さんが中心となり進めることでリーダーシップを育てています。	公共交通機関の利用や外食体験など、社会のルールやマナーを学ぶ機会を引き続き提供していきます。今後も様々な経験ができるよう更にイベントを企画していきます。
3	子どもたちが安心感を持って通所している。 子どもたちが通所を楽しみにしている。 事業所の支援に満足している。	子どもたちが帰ってきた時の『おかえり～』『ただいま～』の挨拶を大切に、お家に帰ってきた時の様な安心感を持ってもらえるようにしている。子どもたちの変化に気付き、気になったことはすぐに職員で共有している。学校であったことなどを聞き出し、一緒に話すことで気持ちの発散を促している。	これまで通りデイジーの温かみのある雰囲気大切にしていきます。今後も子どもたちが毎日安心して通えるように関わる時間、支援する時間を大切にしていきたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルや非常災害の避難訓練など周知できていない。	ご契約時に説明をさせていただいておりますが、周知できていない状況。避難訓練後は連絡帳やHUG、送迎の際にお知らせをしていましたが周知できていない。	今後は連絡帳やHUGでのお知らせだけでなく、避難訓練についての文書を作成し、各ご家庭に報告するようにしていく。また、保護者会などで説明できる機会を設けていく。
2	新規ご利用希望者様の受け入れが難しい状況であること。	事業所の見学や新規のお申込みなど多数いただいております。今現在、大変難しいことにご利用枠がほとんど埋まっており、ご希望の曜日があってもご案内できていない状況です。	お問い合わせがあった場合にはご利用枠について現状をお伝えし、事業所の見学をしていただきながら、お困りごとなどを伺っています。それを基に系列の事業所を紹介したり、ご希望エリアの事業所を紹介する等して今後も対応していきます。
3			